



市長賞受賞作品



ご自宅にて佐藤さんと受賞作品

三島市をはじめ近隣の美術愛好者の作品が毎年一回一堂に集まります。「第67回三島市美術展」が市民学習センターに於いて令和元年6月25日～30日の間、開催されましたので鑑賞と取材に行ってきました。

日本画、洋画、彫刻・工芸、写真、書道の5部門に245作品が出展されプロの芸術家の方々が審査を行い、市長賞・議長賞・教育長賞・実行委員長賞・舜堂賞の入賞作品がそれぞれ決まり、6月30日に表彰式が実施されました。

※舜堂賞とは：三島市にゆかりの画家、下田舜堂氏の業績を顕彰する賞です。

今回 日本画の部で見事、市長賞を受賞されました三島市内在住の佐藤末美様(72歳)を取材させて頂きました。

写真上左は今回受賞された日本画 題名「諏訪大社御柱祭」 写真上右はご自宅にて受賞作品の前での佐藤末美さんです。



岩絵の具 材料



岩絵の具の溶き方

日本画について伺いをしました……日本画には、アクリル絵の具、水彩絵の具、岩絵の具、水墨画などが有りますが佐藤さんは上記写真の様な岩絵の具を使用されていました。



ご自宅画廊、佐藤さんと作品



作品「三島梅花藻」

ご自宅の居間には佐藤さんの描かれた多くの素晴らしい作品が展示されています。過去に受賞された舜堂賞、実行委員長賞、議長賞などの作品もあり、まるで個展ギャラリーのようでした。

日本画を始められたきっかけをお尋ねしたところ「長年勤めてきた仕事を辞めて時間に余裕があったころに友人から日本画展に誘われ鑑賞しました。素晴らしい感動、そして心が癒されました。私の人生後

半、毎日が楽しく 生き生きと「いい顔で」多くのことに挑戦し色々なところで 色々な事を楽しみたいと思っています。」と16年前から日本画を始められたそうです。……この素晴らしいチャレンジ精神には感銘を受けました。



[ご自宅画廊にて佐藤さんの作品](#)



[書と作成中の絵](#)

日本画の他にも、書道、バウンドテニス、卓球、山登り等のグループにも所属され趣味として活動されています。多くの方々と触れ合い、体を動かし頭を使い、毎日が楽しい有意義な時間の人生を過ごされて居られました。

取材：中伊豆地区 生きがい特派員 安藤 智章